

令和7年度 第2回志木市スポーツ推進審議会 会議録

令和7年12月17日

開 閉 日 時	令和7年12月17日（水） 16時 開会 17時15分 閉会
開 催 場 所	志木市役所 庁議室
出 席 委 員	木下 和夫 上原 京子 飯田 路佳 佐々木 幸 島村 直人 高橋 良和 星野 賢 (計7人)
欠 席 委 員	大石 裕弘 金子 裕佑 志村 智 (計5人)
来 賓	なし
説明及び 出席職員氏名	土崎課長 間船主査 新井主任 (計3人)
傍 聴 人	なし
議 題	議事 (1) 秋ヶ瀬スポーツセンター等再整備について (2) 部活動の地域展開について (3) その他 ①簡易照明設備の試験的導入について ②秋ヶ瀬運動公園パークゴルフの利用時間拡充について ③東京ヤクルトスワローズ少年野球教室について
審議内容（審議経過、結論等）	

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 秋ヶ瀬スポーツセンター等再整備について

秋ヶ瀬スポーツセンター等再整備について、今年度より新築工事に着手するが、新施設の名称を以下の方針で決定していきたい。なお、令和8年度以降に名称とは別に愛称を公募する予定である。

- ①施設のコンセプトに合致しつつ用途は伝わりやすいか
(主たる目的は運動施設だが、複数の用途で利用できる複合的施設)
- ②将来的にも使い続けられるか
- ③覚えやすいか

また、いくつか案を考えたので提示する。

- 案① テッラあきがせ
- 案② フォルム・アクティウムあきがせ
- 案③ アクティクルトゥラあきがせ
- 案④ 秋ヶ瀬スポーツ・コミュニティセンター
- 案⑤ 秋ヶ瀬スポーツプラザ
- 案⑥ スポカルプラザあきがせ
- 案⑦ 秋ヶ瀬スポーツコミュニティプラザ
- 案⑧ 秋ヶ瀬コミュニティセンター
- 案⑨ 秋ヶ瀬スポーツ・文化交流センター

これを踏まえて、名称に関する皆さんのご意見を伺いたい。

委 員) 案①～③のような面白い名称も魅力的だが、施設名称は正式感がある方がよいと考える。

委 員) 案①～③については、何のための施設か分かりにくい。

委 員) 施設の正式な名称なので、堅い方がよい。

委 員) 愛称を公募する予定なのであれば、施設の正式な名称は分かりやすくシンプルがよいと考える。

事務局) みなさんの意見も踏まえ、3月議会に条例案を提出する

(2) 部活動の地域展開について

国の方針では、令和8年度から令和10年度までに、休日の学校部活動の地域展開に着手することとされている。これを踏まえ、本市としては令和8年か

ら試行的に地域クラブ活動の活動を順次開始し、令和10年度を目処に、土日に活動がある学校部活動から地域クラブ活動へ展開できたらと考えている、なお、地域クラブ活動の準備を進めている学校部活動はバスケットボール、剣道、ソフトテニス、野球の4種目であり、今後試行的に地域クラブ活動が始まる旨の通知を保護者に発出する予定である。

実際に試行する地域クラブについての今後であるが、バスケットボールについては、今までは学校部活動でも中体連とJBAの両方の大会に参加できたが、今後の大会の棲み分けとして、学校部活動に参加している生徒は中体連のみ参加でき、JBAの所属している生徒はJBAの大会登録のみできるという方式になる。よって、本市としては、令和8年度に中学校1・2年生となる生徒の選択肢が限定されないよう、新たな地域クラブを設立し、志木中学校の体育での活動を予定している。

次に、剣道とソフトテニスについてであるが、どちらの種目においても、学校部活動に、志木市体育協会に所属している剣道連盟およびソフトテニス連盟の方が参加し、支援する形で活動をしているところである。今後の展望としては、まずは引き続き学校部活動の支援を行い、準備が整い次第、地域クラブを設立する予定である。

また、野球については、現在、市内の4中学校が1つの学校に集まり活動を行っているところであるが、指導者が確保でき次第、地域クラブを設立していく予定である。

委員) バスケットボールについては、志木中学校以外の他の中学校区も併せて参加可能という認識でよいか

事務局) 活動場所は志木中学校を想定しているが、他の中学校区の生徒も参加可能である

委員) 剣道については、剣道連盟の方が志木第二中学校の部活動に指導者として応援に行っているということか。

事務局) そのとおり。現在、剣道部があるのは志木第二中学校のみであるが、今後は他の中学校区の生徒で剣道に興味がある子も参加できたらいいと考えている。

委員) 今後、子どもたちが何の種目を行いたい選択できる環境があるのはいいことだと思う。ただし、活動のモチベーションとして大会に参加できることは重要な要素であると考えするため、地域クラブも部活動も両方が大会に参加できるようにする環境の構築が必要である。

事務局) 大会参加の仕組みについては、中体連の規定の見直しが必要だと考えるため、今後についても引き続き動向を確認する。

委員) 同じ種目であっても、生徒のレベルに応じて選択肢があるとよい。

事務局) 将来的には、同じ種目でも複数の地域クラブ活動があるような環境を構築できればと考えている。

委員) 小学生のスポーツ少年団が中学校まで継続して続けられるような仕組みであ

れば、指導者の資格や保険、大会など色々な面でやりやすいと思うが、そういった仕組み作りか可能なのか。

事務局) 可能かどうかも含め、検討したい。

委 員) 統括的な役割として総合スポーツクラブがあって、その下にいろんな種目があるような仕組みは可能なのか。

事務局) 費用面等、課題はあるが将来的には可能だと考える。

委 員) 東洋大学や十文字女子大学など、大学生を指導者として活用することも可能だと考えるがいかがか。

事務局) 指導者に協力する人材としての登用は可能だと思われる。今後、検討したい。

委 員) スケボーなどのアーバンスポーツ等、色んな地域クラブがあればシティプロモーションにもなる。

事務局) 将来的には、土日に活動のある部活動の種目のみならず、新たな種目の地域クラブ設立も目指していく。

(3) その他

①簡易照明設備の試験的導入について

現在、秋ヶ瀬総合運動場において、簡易照明設備の貸出事業を実施しており、来年度以降は正式な事業として実施していく予定である。

②秋ヶ瀬運動公園パークゴルフの利用時間拡充について

暑さ対策の観点より、来年度より4月～9月の期間、早朝よりパークゴルフを楽しめるよう、午前6時から利用可能とする予定である。

③東京ヤクルトスワローズ少年野球教室について

令和7年11月30日(日)に、志木第四小学校の校庭において、現役プロ野球選手による基礎練習の指導や、サイン用バット等の記念品配布抽選会などを実施した。

4 閉 会